

庄内空港利用振興協議会会長（鶴岡市長）コメント

本日、全日本空輸株式会社から、庄内ー羽田線の期間増便を継続し、令和8年10月25日から令和9年3月27日まで1日5往復運航する旨の発表がありました。

1日5往復での期間運航が継続されることを大変喜ばしく受け止めており、ご決定いただいた同社に深く感謝を申し上げます。また、庄内空港の利用促進にご尽力いただいている関係者の皆様に、改めて感謝を申し上げます。

1日5往復の運航により、庄内地域と首都圏を結ぶ航空交通の利便性が一層向上し、羽田空港での乗継利便性も高まり、国内外との交流拡大、地域経済への波及に大きな効果をもたらすものと期待しているところです。

昨年10月には、米国の有力旅行メディア「ナショナルジオグラフィック」で「2026年に行くべき世界の旅行先25選」に、山形県が日本で唯一選出されました。当協議会では、この好機を庄内地域へのさらなる誘客につなげるため、国内外に向けた情報発信を強化するとともに、増便期間を生かした関西・九州方面等への乗継利用の促進や、観光需要の喚起に向けた旅行商品の造成支援など、利用拡大の取組を積極的に行ってまいります。

今後も、庄内空港の更なる発展のため、庄内ー羽田線の通年5便化など、引き続き地域の皆様とともに、関係機関・団体が一丸となって取り組んでまいります。

令和8年8月18日

庄内空港利用振興協議会会長 鶴岡市長 佐藤 聡